

094-1900-1016-12

# US CMA

External Financial Reporting Decisions

**財務報告テキスト Ver.6.0**

**U.S. CMA**  
***External Financial Reporting Decisions***  
***Textbook***  
**Contents**

<b>1. Financial Statements (財務諸表)</b> .....	1
1. Financial Statements (財務諸表) .....	2
<b>2. Inventories (棚卸資産)</b> .....	17
1. Inventory の範囲 .....	18
2. Inventory の処理プロセス .....	19
3. Original Cost (取得原価) の決定 .....	20
4. Original Cost の修正 .....	21
5. Periodic Inventory System and Perpetual Inventory System (棚卸計算法と継続記録法) .....	23
6. 払出単価の計算方法 .....	24
7. Lower of Cost or Market and Lower of Cost and Net Realizable Value (低価法) .....	38
8. Title の移転時期 .....	42
<b>3. Property, Plant, and Equipment (有形固定資産)</b> .....	47
1. Characteristics of Property, Plant, and Equipment (有形固定資産の特徴) .....	48
2. Original Cost (取得原価) の決定 .....	49
3. Depreciation (減価償却) .....	52
4. Capital Expenditures and Revenue Expenditures (資本的支出と収益的支出) .....	68
5. Disposal of PP&E (固定資産の処分) .....	70

6. IFRS における有形固定資産の評価 .....	74
<b>4. Monetary Assets (貨幣性資産) .....</b>	<b>79</b>
1. Recognition of Accounts Receivable (売掛金の認識) .....	80
2. 決算時の会計処理と Accounts Receivable の評価 .....	81
3. Sales の修正 .....	88
4. Transfer of Receivables (債権の譲渡) .....	91
<b>5. Liabilities (負債) .....</b>	<b>95</b>
1. Classification of Liabilities (負債の分類) .....	96
2. Contingencies (偶発事象) .....	98
<b>6. Stockholders' Equity (株主持分) .....</b>	<b>105</b>
1. Components of Stockholders' Equity (資本の構成要素) .....	106
2. 株式に関する基礎知識と Paid-in Capital (払込資本) .....	108
3. Retained Earnings (利益剰余金) .....	110
4. Dividends (配当) .....	113
5. Stock Splits (株式分割) .....	130
<b>7. Financial Statements (2) (財務諸表) .....</b>	<b>135</b>
1. Discontinued operations (非継続事業) .....	136
2. Comprehensive Income (包括利益) .....	142
3. Notes (注記) .....	146
<b>8. Present Value (現在価値) .....</b>	<b>149</b>
1. Present Value の考え方① .....	154
2. Present Value の考え方② .....	160
<b>9. Corporate Bonds (社債) .....</b>	<b>163</b>
1. Bonds (社債) の発行形態 .....	164

2. Amortization of Bond Discount / Premium (償却) .....	168
<b>10. Investment (投資) .....</b>	<b>177</b>
1. Securities の分類と会計処理の基礎 .....	178
2. 決算時の会計処理 .....	180
3. Impairment of debt securities (負債証券の減損) .....	192
<b>11. Leases (リース) .....</b>	<b>199</b>
1. Criteria for Classifying Leases (リース取引の分類基準) .....	200
2. Finance Lease (借手側の会計処理－実質が売買の場合) .....	204
3. Operating Lease (借手側の会計処理－実質が賃貸借の場合) .....	210
4. 関連論点 (借手側の会計処理) .....	213
5. Sales-Type Lease and Direct Finance Lease (貸手側の会計処理－実質が売買の場合) .....	214
6. Operating Lease (貸手側の会計処理－賃貸借の場合) .....	218
<b>12. Non-Monetary Assets</b> (非貨幣性資産) .....	<b>221</b>
1. Impairment of Value (資産価値の減損) .....	222
2. Intangible Assets (無形資産) とは .....	228
3. IFRS における Intangible Asset (無形資産) の会計処理 .....	229
4. Legal Rights (法律上の権利) .....	231
5. Goodwill (のれん) .....	232
6. Research and Development Costs (研究開発費) .....	236
<b>13. Revenue Recognition (収益の認識) .....</b>	<b>241</b>
1. Revenue Recognition (収益認識) .....	242
<b>14. Interperiod Tax Allocation (税効果会計) .....</b>	<b>255</b>
1. Interperiod Tax Allocation (税効果会計) の適用 .....	256

2. Deferred Tax Assets と Deferred Tax Liabilities .....	262
<b>15. Statement of Cash Flows (キャッシュ・フロー計算書) .....</b>	<b>273</b>
1. Statement of Cash Flows (キャッシュフロー計算書) .....	276
2. Classification (分類) .....	278
3. Cash Flows From Operating Activities の作成・表示方法 .....	281
<b>16. Consolidated Financial Statements .....</b>	<b>293</b>
1. Introduction to Consolidations.....	294
2. Consolidation Models (連結のモデル) .....	295
3. Methods to Account for Consolidations (連結会計の方法) .....	302
4. Intercompany Transactions.....	306
5. Inventory に係る Unrealized Profit の消去.....	311

# 1. Financial Statements (財務諸表)

---

## Objectives

本章では、Financial Statements (財務諸表) の種類や形式について確認をしていきます。

## Key Topics

### 1. Financial Statements (財務諸表)

## 1. Financial Statements (財務諸表)

企業は日々の取引を記録、分類、集計していき、最終的には一定期間ごとに **stakeholders** への報告書を作成することになる。この報告書のことを、**financial statements** と呼ぶ。

ここでは代表的な **financial statement** である、

- **Income statement (I/S、損益計算書)**
- **Balance sheet (B/S、貸借対照表)**

の概要をみていくことにする。

### (1) Income statement (損益計算書)

**Income statement** は、簡単にいえば、一定期間における企業の儲けを示すものである。

具体的には、企業活動の成果である **revenues (収益)** から、成果を獲得するための犠牲である **expenses (費用)** を差し引いて、儲けである **net income (当期純利益)** を示す形式で作成される。なお、**revenue** よりも **expense** の方が大きい場合、**net income** がマイナスになるが、これを **net loss (当期純損失)** といいう。

このように、成果からそれを獲得するために犠牲になった分を控除して儲けを示すことで、**financial statements** の利用者は企業の **profitability (収益性)** を把握することができることになる。

なお、**income statement** は企業の儲けを示すものであると述べたが、これを会計用語では企業の **operating results (経営成績)** を示す、という。

Income statement

Expenses (努力)	Revenues (成果)
Net income (もうけ)	

**(2) Income statement に記載される項目**

① Revenues (収益)

Revenues とは、商品の販売、サービスの提供その他の事業活動によって獲得した成果をいう。Revenues は stockholders' equity を増加させることになる。

- (例) Sales (売上)  
Rent revenue (受取賃貸料)  
Interest income (受取利息)

② Expenses (費用)

Expenses とは、revenues の獲得を目的として、商品の販売、サービスの提供その他の事業活動を行うために費消された努力または犠牲をいう。Expenses は stockholders' equity を減少させることになる。

- (例) Cost of goods sold (売上原価：販売した商品・製品の原価)  
Rent expense (支払賃借料)  
Salaries expense (wages expense、給料、賃金)  
Interest expense (支払利息)

なお、revenues から expenses を差し引いて net income が生じれば、それは企業の正味の財産が増加したといえる。よって、一定期間に net income が生じれば、それだけ stockholders' equity が増加することになる。



Income statement の表示形式には次の2つがある。

① Single-step income statement (無区分式損益計算書)

Single-step income statement においては、revenues を列挙して total revenues を求め、expenses を列挙して total expenses を求め、その上で、両者の差額として net income (income from continuing operations) を求める。このため、活動の種類ごとの income は表示されないことになる。

<b>TAC Company</b>	
<b>Income Statement</b>	
<b>For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousands)</b>	
<b>Revenues</b>	
Net sales	\$ 1,000
Rental revenue	70
Interest revenue	<u>100</u>
<b>Total revenues</b>	<u>1,170</u>
<b>Expenses</b>	
Cost of goods sold	\$ 400
Selling expenses	100
General and administrative expenses	150
Interest expense	50
Income tax expense	<u>70</u>
<b>Total expenses</b>	<u>770</u>
<b>Net income</b>	<u><u>400</u></u>

## ② Multiple-step income statement (区分式損益計算書)

Multiple-step income statement においては、活動の種類ごとに revenues と expenses、ひいては income を示していく。具体的には、operating activities からの損益（主たる営業活動による損益）と non-operating activities からの損益（営業外の活動による損益）とに区分して表示する。

<b>TAC Company</b>		
<b>Income statement</b>		
<b>For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousands)</b>		
<b>Net sales</b>		\$1,000
<b>Cost of goods sold</b>		<u>(400)</u>
<b>Gross margin</b>		600
<b>Operating expenses</b>		
Selling expenses	\$100	
General and administrative expenses	<u>150</u>	<u>(250)</u>
<b>Operating income</b>		350
<b>Other revenues</b>		
Rental revenue	70	
Interest revenue	<u>100</u>	170
<b>Other expenses</b>		
Interest expense		<u>(50)</u>
<b>Income before income tax</b>		470
<b>Income tax expenses</b>		<u>(70)</u>
<b>Net income</b>		<u><u>\$ 400</u></u>

ここでは各区分の内容を説明する。

まず、商品販売を営んでいる場合、商品の販売による sales (売上高) から、その商品の原価 (cost of goods sold ; 売上原価) を控除して、gross profit (gross margin ; 売上総利益) を求める。

次に、gross profit から、operating expenses (販売費及び一般管理費) を控除して、operating income (営業利益) を表示する。Operating income は、本業からの儲けを示している。なお、operating expenses には selling expenses (販売費) と general and administrative expenses (一般管理費) がある。このため、operating expenses は SG&A と略して書くことが多い。なお、selling expenses と general and administrative expenses のそれぞれの具体例は次のとおりである。

#### 【Selling expenses の例】

- Delivery expense (Freight-out ; 発送費)
- Sales salaries and commissions (営業担当の従業員の給料や手数料)
- Advertising expense (広告宣伝費)
- Depreciation of sales equipment (販売活動で用いる装置などの減価償却費)  
(Depreciation expense については第 3 章で取り扱う。)

#### 【General and administrative expenses の例】

- Officers' salaries (執行役員の給料)
- Office salaries (管理担当の従業員の給料)
- Accounting and legal fees (会計士や弁護士の報酬)
- Insurance expense (保険料)
- Depreciation of building, office equipment (本社建物や管理活動用の装置などの減価償却費)

さらに、operating income に、本業以外の活動からの損益 (other revenues と other expenses) を加減算する。典型的には、財務活動 (資金調達や余剰資金の運用) からの損益を加減算する。Other revenues と other expenses の例としては、interest expense や interest revenue、rental revenue、dividends income などが挙げられる。

最後に、income tax expense (法人税) を控除して、net income (当期純利益) が表示される。

**(3) Balance sheet (貸借対照表)**

**Income statement** が「一定期間」の儲けを示すものであるのに対し、**balance sheet** は「一時点」の企業の状態を示すものである。

具体的には、手元の現金や保有する土地などのプラスの財産である **assets (資産)** から、借入金などのマイナスの財産である **liabilities (負債)** を差し引いて、正味の財産である **net assets (純資産)** を示すものである。たとえば、土地などが 1,000 万円あり、借入金が 600 万円あるとすれば、1,000 万円から 600 万円を差し引いて 400 万円の **net assets** があることになる。

なお、**liabilities** が **creditors** のものであるのに対し、**net assets** は **stockholders** のものであるので、**net assets** のことは **stockholders' equity (資本)** と呼ぶ。

Balance sheet

<b>Assets</b> (プラスの財産)	<b>Liabilities</b> (マイナスの財産)
	<b>Stockholders' equity</b> (正味の財産)

ここで、見方を変えると、図の右側は「どのように資金を調達しているのか (たとえば銀行から借りているとか、**stockholders** から出資してもらっているということ)」を示しており、図の左側は「調達した資金を何に使っているのか (たとえば土地を買うのに使ったということ)」を示している。これを、会計用語では、**source of funds (資金の調達源泉)** と **application of funds (運用形態)** といい、**balance sheet** は **year-end** における **financial position (財政状態：資金の調達源泉と運用形態)** を示すものといえることができる。

**Point !**

会社の資産の調達源泉は

- ① **Stockholders** からの出資 (株主から「出資してもらう」)
- ② **Creditors** からの **Loan** (債権者から「借りる」)
- ③ **Clients** からの **Profit** (お客様から「稼ぐ」(ただし、必要経費は除く)) の3つである。

#### (4) Balance sheet に記載される項目

##### ① Assets (資産)

**Assets** とは、企業が所有するもので、**future economic benefits** (将来の経済的便益) を生み出す経済的資源をいう。経営に役立つ財貨 (モノ) および金銭債権など、プラスの財産とイメージしておけばよい。

(例) **Cash** (現金預金)

**Inventory** (棚卸資産: 商品など)

**Buildings** (建物)

**Land** (土地)

**Accounts receivable** (売掛金、未収金: 商品やサービスを提供したものの、**cash** をいまだ受け取っていないために生じる金銭債権)

**Loan receivable** (貸付金)

##### ② Liabilities (負債)

**Liabilities** とは、企業が将来、他の企業などに一定の財貨・サービスを提供しなければならない **obligations** (義務) をいう。マイナスの財産とイメージしておけばよい。なお、義務が履行されるまで、**creditors** は企業の **assets** に対して債権を有することになる。このため、**liabilities** のことを、**creditors' equity** (債権者持分) と呼ぶことがある。

(例) **Accounts payable** (買掛金、未払金: 商品やサービスの提供を受けたものの、**cash** をいまだ支払っていないために生じる金銭債務)

**Loan payable** (借入金)

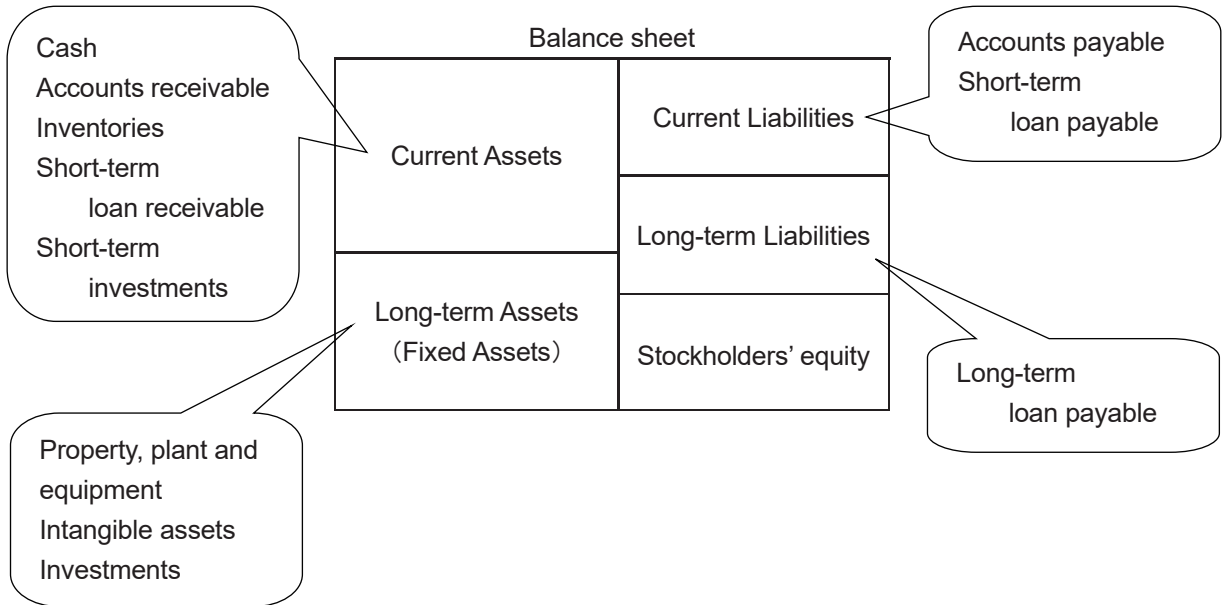
##### ③ Stockholders' equity (net assets、資本)

**Stockholders' equity** とは、**assets** から **liabilities** を差し引いた **net assets** のことであり、**assets** に対する **stockholders** の持分を表す。言い換えれば、**assets** から **creditors' equity** を差し引いた **residual equity** (残りの持分) のことをいう。

## ① Balance sheet (貸借対照表)

<b>TAC Company</b>	
<b>BALANCE SHEET</b>	
<b>As of December 31, 20X1</b>	
<b>Assets</b>	
Current assets	
Cash and cash equivalents	\$ 725
Short-term investments	350
Accounts receivable, less allowance for doubtful accounts	4,081
Inventories	3,528
Prepaid rent	1,222
Other current assets	604
Total current assets	10,510
Property, plant and equipment, less accumulated depreciation	9,355
Other assets	2,935
Total assets	\$22,800
<b>Liabilities and Stockholders' Equity</b>	
Current liabilities	
Notes payable	\$ 1,605
Accounts payable	2,018
Loan payable – short-term	2,222
Accrued liabilities	2,170
Total current liabilities	8,015
Long-term debt	
Loan payable – long-term	1,600
Bonds payable	2,000
Other liabilities	985
Total liabilities	12,600
Stockholders' equity	
Common stock, \$3 par value	3,000
Additional paid-in capital	1,000
Retained earnings	6,200
Total stockholders' equity	10,200
Total liabilities and stockholders' equity	\$22,800

ここでは **assets** と **liabilities** が、**balance sheet** の上、**current** (流動) 項目と **non-current** (long-term、固定) 項目に分類されることを知ってほしい。



※ **Property, plant and equipment** は **building** や **equipment** などの有形固定資産のことである。また、**intangible assets** は **patent** (特許権) のような法律上の権利等が該当する。最後に、**investments** は、他の会社の株式や社債への投資のことである (ただし短期的なものは **current assets** とされる)。

**Current** と **non-current** に区分する際の考え方は次のとおりである。

- ◆ **Operating cycle** (営業循環期間)  
**Operating cycle** (現金 → 商品・製品、買掛債務 → 売掛債権) の中にあるものは **current** とする基準をいう。
- ◆ **One-year rule** (1年基準)  
 決済期限が決算日の翌日から起算して一年以内 (翌期中) に到来するものを **current**、一年を超えて (翌々期以降に) 到来するものを **non-current** とする基準である。

現行制度上は、**assets**、**liabilities** については、まず **operating cycle** の中にあるものについては **current** 項目とし、**operating cycle** の中にないものについて **one-year rule** を適用している。たとえば、**inventory** や **accounts receivable** は **current assets** する一方で、**loan receivable** については決算日の翌日から起算して返済日が1年以内であれば **current** 項目とし、1年超であれば **non-current** 項目としている。

## Income Statement and Balance Sheet

(損益計算書と貸借対照表)

Income statement や balance sheet という言葉を初めて耳にする方は、次の簡単な設例を使って大雑把なイメージをつかみましょう。

### Example

ある日の朝、太郎君は財布の中に 8,000 円のお金を持っていました。しかし、このとき、太郎君は A 君から 3,000 円を借りていました。

その日の昼、太郎君は、A 君や B 君とポーカー・ゲームで賭けをして遊びました。太郎君はロイヤル・ストレート・フラッシュであがり、A 君、B 君から、それぞれ 1,000 円、2,000 円をもらえることになりました。ただ、A 君からは直接お金をもらうのではなく、太郎君の A 君からの借りを 2,000 円に減額することになりました。また、B 君は貧乏なので、とりあえず 1,000 円だけお金をもらい、残りの 1,000 円は太郎君の B 君への貸しとしました。そして、気をよくした太郎君はタクシー代 500 円を使って家に帰りました。その日の夜、太郎君は、財布の中に 8,500 円があることを確認してから眠りにつきました。

ある日の朝	財布の中のお金	8,000 円
	A 君からの借り	3,000 円
その日の昼	ポーカーの勝ち	3,000 円
	タクシー代	500 円
その日の夜	財布の中のお金	8,500 円
	B 君への貸し	1,000 円
	A 君からの借り	2,000 円

さて、太郎君はこの日いくら儲けたでしょうか？ 財布の中身が 8,000 円から 8,500 円になったから 500 円の儲けでしょうか？ 違いますよね。朝の時点においては太郎君の正味財産は 5,000 円だったのです。そして、ポーカー・ゲームで 3,000 円勝ち、タクシー代を 500 円支払ったため、差引 2,500 円だけもうけたこととなります。その結果、夜の時点においては太郎君の正味財産は 7,500 円となったのです。



ある日の朝	財布の中のお金	8,000 円
	A君からの借り	<u>-3,000 円</u>
	正味財産	<u>5,000 円</u>
その日の昼	ポーカーの勝ち	3,000 円
	タクシー代	<u>- 500 円</u>
	本日のもうけ	<u>2,500 円</u>
その日の夜	財布の中のお金	8,500 円
	B君への貸し	+1,000 円
	A君からの借り	<u>-2,000 円</u>
	正味財産	<u>7,500 円</u>

朝の時点における正味財産 5,000 円に本日の儲け 2,500 円が加わり、夜の時点における正味財産が 7,500 円になったということが把握できたでしょうか。

これらの計算過程を表にすると次のとおりです。

本日の儲けの計算

タクシー代	500	}	ポーカーの勝ち 3,000
儲け	2,500		

夜の時点における財産

お 金	8,500	A君からの借り	2,000
B君への貸し	1,000	正味財産	7,500
		(朝からあった分 5,000)	
		(本日の儲け分 2,500)	

この表を少し変えてみましょう。実は、これが **income statement** と **balance sheet** なのです。

損益計算書

費 用	500	}	収 益	3,000
利 益	2,500			

貸借対照表

資 産	9,500	負 債	2,000
		資 本	7,500
		(元本 5,000)	
		(利益 2,500)	

**(5) その他の financial Statements (財務諸表)****① Cash Flow Statement (C/F)**

Cash Flow Statement は、B/S の Cash and cash equivalents (現金および現金同等物) の増減を、Operating Activities (営業活動)、Investing Activities (投資活動)、Financing Activities (財務活動) に分けて表示する。

<b>TAC Company</b>		
<b>Statement of Cash Flows</b>		
<b>For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousands)</b>		
<b>CASH FLOWS FROM OPERATING ACTIVITIES</b>		
Cash received from customers	\$ 900	
Cash paid to suppliers and employees	(550)	
Interest received	100	
Interest paid	(50)	
Income taxes paid	(60)	
<b>Net cash provided by operating activities</b>		<b><u>\$ 340</u></b>
<b>CASH FLOWS FROM INVESTING ACTIVITIES</b>		
Capital expenditures for PPE	(1,200)	
<b>Net cash used in investing activities</b>		<b><u>(1,200)</u></b>
<b>CASH FLOWS FROM FINANCING ACTIVITIES</b>		
Proceeds from issuance of long-term debt	1,600	
Dividends paid	(200)	
<b>Net cash provided by financing activities</b>		<b><u>1,400</u></b>
<b>NET INCREASE IN CASH AND CASH EQUIVALENTS</b>		<b>540</b>
Cash and cash equivalents at beginning of year		<u>185</u>
<b>Cash and cash equivalents at end of year</b>		<b><u>\$ 725</u></b>

## ② Statement of Changes in Stockholders' Equity (S/S)

Statement of Changes in Stockholders' Equity は、B/S の Stockholders' Equity (株主資本) の増減明細を表す財務諸表である。Stockholders' Equity の詳細については、第 9 章で学習する。

<b>TAC Company</b>				
<b>Statement of changes in Stockholders' equity</b>				
<b>For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousands)</b>				
	<b>Common Stock</b>	<b>Additional Paid-in Capital</b>	<b>Retained Earnings</b>	<b>Total</b>
December 31 20X0	\$3,000	1,000	6,000	10,000
Net Income	-	-	400	400
Dividend Payment	-	-	(200)	(200)
December 31 20X1	<u>3,000</u>	<u>1,000</u>	<u>6,200</u>	<u>\$10,200</u>

## ③ Notes (注記)

利害関係者に重要な情報を補足的に開示するために各財務諸表に Notes (注記) が記載される。

## (6) Generally Accepted Accounting Principles (GAAP : 一般に認められた会計原則)

企業が開示する financial statements の社会的な重要性はきわめて大きい。そして、financial statements のもつ社会的重要性が高ければ高いほど、その作成には注意が払われなければならない。真実ではない内容の (misstatements (虚偽の表示) を含んだ) financial statements が開示された場合、各種の stakeholders は大きな損害を被ったり、適切な意思決定が行えない可能性があるからである。

ここで、financial statements の作成を全面的に management にまかせてしまった場合、management が自らの利益のために financial statements の諸数値を操作してしまう可能性もある。たとえば、企業活動に必要な資金を多く集めようとする management は、利益を実態より過大に計上しようとするかもしれない。

そこで、具体的に financial statements を作成するためのよりどころとなるルールの設定

が必要とされることになる。

このルールは、一般に公正妥当と認められてきたものを集約し、また規範的な視点から修正して成り立っており、**generally accepted accounting principles**（GAAP、一般に認められた会計原則）と呼ばれる。

なお、**accounting principles** のことは、**accounting standards** と呼ぶこともある。

## 1. Basic Concepts of Financial Accounting Terminology

<input type="checkbox"/>	1	income statement	損益計算書
<input type="checkbox"/>	2	balance sheet	貸借対照表
<input type="checkbox"/>	3	revenue	収益
<input type="checkbox"/>	4	expense	費用
<input type="checkbox"/>	5	net income	当期純利益
<input type="checkbox"/>	6	operating results	経営成績
<input type="checkbox"/>	7	asset	資産
<input type="checkbox"/>	8	liability	負債
<input type="checkbox"/>	9	net assets	純資産
<input type="checkbox"/>	10	stockholders' equity	資本
<input type="checkbox"/>	11	financial position	財政状態
<input type="checkbox"/>	12	generally accepted accounting principles	一般に認められた会計原則
<input type="checkbox"/>	13	GAAP	一般に認められた会計原則